

農政の動き 2017年6月2日～6月8日

◎年間出生数が初めて100万人下回る

厚生労働省は、2016年の合計特殊出生率は、前年比0.01ポイント減の1.44となったと発表した。1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標で、16年の出生数は約2万8千人減の約97万7千人となり、統計開始以来、初めて100万人を下回った。一方、死亡数は約1万7千人増の約130万8千人と戦後最多を更新。出生数から死亡数を差し引いた人数は、マイナス約33万人で10年連続で減少となった。(2日)

◎競争力強化支援法で事業者向け説明会

農林水産省は、今国会で成立した農業競争力強化支援法に関する事業者向け説明会を開き、事業再編・参入にかかる支援措置を説明した。国から計画認定を受けた事業者には、会社設立などの登記にかかる登録免許税の軽減や資金借入れ時の債務保証などが受けられることとした。また、同省は、法律の施行を8月1日にすることも明らかにした。(5日)

◎環境白書を閣議決定

政府は、2016年度の環境・循環型社会・生物多様性白書を閣議決定した。特集は、2030年までに「飢餓をゼロに」「安全な水とトイレを世界中に」「気候変動に具体的な対策を」など世界を変えるための17目標を掲げた国際的な開発目標「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成に向けた国内外の取り組みを取り上げた。また、地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」を進める重要性を強調。日本が抱える環境・経済・社会の諸課題を同時解決する動きとして、再生可能エネルギーの導入拡大などの取り組み事例も特集した。(6日)

◎日・ベトナムの首相 TPP発効へ協力

安倍晋三首相は、ベトナムのグエン・スアン・フック首相と東京都内で会談し、環太平洋連携協定(TPP)の迅速な発効に向けて協力するとして共同声明を発表した。両首相は東アジア地域包括的経済連携(RCEP)の早期妥結でも緊密に連携する旨を確認した。また、安倍首相はカナダのジャスティン・トルドー首相と電話会談も行い、TPPの早期発効へ緊密な連携を確認した。(6日)

◎韓国で鳥インフルが続発 まん延の恐れ

韓国で6月以降、高病原性鳥インフルエンザが続発し、まん延の恐れが出ている。2日に済州特別自治道の農場で発生が確認されて以降、全羅北道や京畿道などでも相次いで見つかри、7日までに13例に拡大。韓国政府は警戒レベルを最高段階に引き上げた。日本国内では今年4月以降、養鶏場での発生はないが、引き続き警戒が必要だ。(7日)

◎国内産米粉促進ネットワークが通常総会

NPO法人「国内産米粉促進ネットワーク」は、東京都内で通常総会を開催。2019年度は製粉業界や生産団体、食品産業・流通業界などが創設した日本米粉協会と連携し、米粉の普及拡大の取り組みを強化する方針を確認した。具体的には、①米粉製造業者と流通・販売業者の商談会などの開催②米粉の用途別基準、ノングルテン表示の普及啓発③米粉加工品の輸出促進支援——などを進める。島田圭一

郎理事長は、用途別基準などの策定や、日本米粉協会の設立などを追い風に、「(米粉用米の年間利用量について) ここ数年の2万トンの壁を破り、10万トンを突破したい」と述べた。(8日)